キャリア教育の全体計画

学校経営の基底

・公教育を行う
・社会の要請に応える
・本校教育の伝統を尊重する

本校の教育目標

21世紀を、自分のよさを発揮し、
広く豊かに生きる子どもの育成

児童生徒の実態

・知的、自閉症情緒障がいの子
・市内全域からの通学

保護者、地域の願い

・児童生徒の確かな生活力の育成
・保護者の悩みや思いに寄り添った適切な対応

目指す児童生徒像

・たしかに学ぶ子　（知）
・かかわりをもてる子　（情）
・たくましく生きる子　（意・体）

本 年 度 の 重 点 目 標

かかわりを通して学び、主体的に未来を生き抜く子どもの育成
～ ～一人一人が輝く「かかわり」「つながり」「ひろがり」の実現～
①話す・聞く・書く力　②コミュニケーション　③生活する力（身辺自立）　④運動技能（自立活動）

本年度のキャリア教育の重点

◎　「人間関係形成・社会形成能力」「コミュニケーション能力」の育成に取り組む
◎　現場学習や職場体験学習などの中核な教育活動と関連付けて、全教育活動において、補充・深化・統合し、キャリア発達を促す
◎　個に応じた進路・進学指導を進めていくこと

キャリア教育で目指す児童生徒像

夢や希望をもって前向きに努力し、明るく、たくましく生きる子
学ぶことや働くことの意義を理解し、望ましい職業観や勤労観を身に付けた子

身に付けさせたい力

＊人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	＊課題対応能力	キャリアプランニング能力
・思いを受け止める力 ・思いを伝える力 ・コミュニケーション力	・自分の良さに気づく力 ・我慢する力 ・前向きに考える力	・わかる力 ・チャレンジする力	・学ぶことや働くことの大切さがわかる力 ・チャレンジする力

各教科

・伝え合う力、表現する能力・態度を育てる
・基本的な学び方を定着させる

自立活動

・学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う

道　徳

小学校	・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いに心掛け、明るく接する ・友達と仲よくし、助け合う ・働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く
中学校	・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる ・互いに励まし合い助け合う ・勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって社会の発展に努める

発達段階別の重点目標

４　段　階	・自分の役割を理解し、責任をもって役割を果たそうとする。 ・夢や目標に向かって努力しようとする。
３　段　階	・自分の思いを言葉で伝えようとすることができる。 ・係や当番の仕事に取組み、その大切さが分かる
２　段　階	・「ありがとう」や「ごめんなさい」を言うことができる。 ・自分のことは自分で行おうとする。
１　段　階	・返事やあいさつができる。 ・自分からやってみようとすることができる。

総合的な学習の時間

小学校	・体験学習を通して人と触れ合う楽しさを知り、共に生きることの大切さを知る ・校外学習を通して社会生活に必要なスキルを学ぶ
中学校	・体験学習を通して対人関係、社会適応能力を育む ・校外学習を通して大人になるために必要なｽｷﾙや社会生活に必要なｽｷﾙを学ぶ

特別活動

・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う
〇望ましい人間関係の育成
〇勤労生産・奉仕的行事

学校の教育目標の具現化に向けた学部・学級経営

・学部の教育目標、重点目標
・教科、領域ごとの重点